# 北朝鮮弾道ミサイル発射時の対応について

**避難行動**

**１．Ｊアラートを活用した緊急情報が発信された場合の避難行動例について**

○ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は，Ｊアラートを通じて，防災行政無線等で特別なサイレン音とともにメッセージが流れるほか，緊急速報メール等によって緊急情報が発信されるので，メッセージが流れたら，落ち着いて直ちに次の行動をとることが求められる。

**【屋外にいる場合の行動例】　（登下校中を含む）**

・近くの建物（できれば頑丈な建物）の中又は地下に避難する。

・近くに適当な建物がない場合は，物陰に身を隠すか地面に伏せ，頭部を守る。

**【屋内にいる場合の行動例】**

・できるだけ窓から離れ，できれば窓のない部屋へ移動する。

**【自動車の車内にいる場合の行動例】**

・車は燃料のガソリンなどに引火する恐れがあるため，車を止めて近くの建物（できれば頑丈な建物）の中又は地下に避難する。周囲に避難できる建物や地下施設がない場合，車から離れて地面に伏せ，頭部を守る。

**【ミサイルが着弾した場合に取るべき行動例】**

・近くにミサイルが着弾した場合は，屋外にいる場合は，口と鼻をハンカチで覆いながら，現場から直ちに離れ密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。屋内にいる場合は，換気扇を止め，窓を閉め，目張りをして室内を密閉する。

・弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため，テレビ・ラジオ・インターネット等を通して，情報収集に努めるとともに，行政からの指示があればそれに従って，落ち着いて行動する。

**学校（授業）の対応**

**１．登校前・登校中に<u>香川県を含む地域に</u>Ｊアラートが発信された場合**

○ただちに避難行動をとり、自宅待機する。登校中の場合は、避難行動ののち安全を確認してから移動を再開する。公共交通機関利用の場合はその指示に従う。

**２．Ｊアラートにより、日本の領土・領海に落下したことを確認した場合**

○その日の授業を取りやめ、Ｊアラートの伝達情報に従い避難を継続する。

**３．Ｊアラートにより、日本の領海外の海域に落下したことを確認した場合**

○避難行動を解除し授業等を開始または再開する。自宅待機の場合も登校開始または再開する。

**４．Ｊアラートによる情報の有無に関わらず、日本の領土・領海に落下した場合**

○メディアや教育委員会の情報を基に学校が判断する。

※上記内容を踏まえ、学校の再開・授業の取りやめ等の判断については、ミッタメール等で連絡する。

令和７年４月１５日

香川県立香川中央高等学校